令和5年度　ともに未来を創る「くるめっ子」を育成する 津福小学校プラン

《本年度の重点目標》　**自己指導能力を高めた子どもの育成**

（合言葉）すすんで学び、みんなで学びをたのしみ、前進するつぶくっ子

～①つなごう めあて・チャレンジ・ふり返り ②じぶんから あいさつ・そうじ・うち学習 ③ふくらまそう できた！楽しい！役立った！～

何が、どのように分かった・できたのか、学びをどう生かすのかを書いたり伝えたりできる。【つくる力】

根拠や理由を書いたり伝えたりして、よりよい考えをつくることができる　【つなぐ力】

自分で選択、工夫して「めあて・チャレンジ・ふり返り」をくり返し、伸びようとする。【つらぬく力】

学びをつなぐ授業

①学力向上プラン「視点２」に記載

②3つの見取りとCD層への具体的支援を徹底する。（レディネステストや予習から「どこでつまずくか」を想定→机間指導でつまずきを把握して、それに応じた具体的支援→ふり返りやミニテストで理解度、定着度を把握して学び直しの実施（算数 毎時間）

【成果指標】「国語、算数の授業の内容がよくわかる」 全学年で2教科とも 3.3以上：4段階評定尺度

③「めあてづくり」「自分の考えづくり」「対話的活動」「まとめ・ふり返り」のいずれかの場面で、ねらいに応じてICTを活用する。（毎日3回以上）

④教員のスキルアップ研修の実施と教材作成を行う。（学期１回）

笑顔の先生

①学力向上プラン「視点4」に記載

②会議資料のデジタル化、共有F内の教材活用、学年を超えた交換授業、「地域の先生」活用を推進する。（常時）

【成果指標】「先生はよさを認めてくれる」「先生はわかるまで教えてくれる」3.4以上：4段階評定尺度

協働する学校・家庭・地域

①地域学校協議会プラン「提言①」参照

②地域学校協議会プラン「提言②」参照

③学力向上プラン「視点4」に記載

楽しい学校

①「津福小アクションプラン」の初期対応を徹底する。（毎日）　ケース会議で対応策を検討し、全職員で共有する。（随時）　「心のアンケート」を実施し、組織的ないじめ対応を徹底する。（毎月）

【成果指標】長期欠席者数が前年度より減少。いじめの認知件数が前年度より10%増加

②児童会、委員会が主体となった「休み時間を安全に楽しく過ごす」「けが人を減らす」取組を行う。（毎月）

③児童主体で企画・運営する集会等の活動を行い、自分や友達の活動を認め合う活動を行う。（毎月）

【体力向上】

①体育の時間のはじめに、持久力を高める運動（□分間走、なわとび）を行う。（毎時間）

②「津福小スポチャレ」の推進（**「１校１取組」運動**）

（みんなでなわとび・ドッヂボールラリー・ジグザグ走）

・体力アップシート活用率：目標85%

・スポコン広場登録学級数：目標１学級

【あいさつ・そうじ・うち自習】

①子どもがつくるロードマップをもとに「めあて・チャレンジ・ふり返り」を繰り返し、あいさつ名人クラスをめざす。（毎月）

②子どもがつくるロードマップをもとに「めあて・チャレンジ・ふり返り」を繰り返し、そうじ名人クラスをめざす。（毎月）

③「弱点克服」のための「マイ学習プラン」の内容・方法を自ら計画し、AIドリルを活用して実践する。（毎月）

基盤として大切にすること（本年度の重点）

【人権・同和教育】①江南中校区人権カリキュラムにそった授業実践の実施とふり返り②学級・学年・ブロックで「思いを共有する・かかわり合う・みとめ合う」活動の位置づけ（たてわり活動、異学年学習の推進）③みとめ合う人的・言語・物的環境づくり〔要綱Ｐ　参照〕

【特別支援教育】①自立活動の計画的実施と定期的なミニ研修の実施②特学担任と交流担任が連携して、交流及び共同学習の課題を共有③つぶく学級の友だちの困り感や学習を知る機会の位置づけ〔要綱Ｐ　参照〕

【キャリア教育】「できた・楽しい・役立った」「次への気づき」をキャリアパスポートに蓄積　〔要綱Ｐ　参照〕